バスケットボール競技実施要項

1. **競 技 規 則**　　２０１８年度（公財）日本バスケットボール協会の「競技規則」による。

2. **競 技 種 目**　　バスケットボール競技とする。

3. **出 場 資 格**
   (1) 関東ろう連盟体育部に登録した者により編成したチームとする。〔都県単位に2チーム以上出場することもできる〕
   (2) 都県単位でチームを編成できない場合は、他県チームと(関東地区)合同でチームを編成することができる。
   (3) チームの有無に関係なく、他県のチーム（関東地区）に所属することができる。ただし、その場合、該当する　県の体育部長の承認を得ること。

4. **チームの編成**
   (1) チームの編成は、監督、コーチ、マネージャーを含めて１８人以内とする。
   (2) 監督、コーチ、マネージャーが選手を兼ねる場合は、選手登録をしていなければ、選手として出場することはできない。
   (3) 登録されたメンバー以外のベンチ入り及び公式練習への参加は認めない。
   (4) 特別な理由（突発的な事故、病気）がある場合に限り、選手の変更並びに背番号の変更は、今大会の実施要項の規定（所定の用紙に記入して、監督・主将会議の期日までに提出する）に従って認められる。ただし、追加の申込は一切認めない。

5. **競 技 方 法**
   (1) 2チーム以上の参加により実施する。
   (2) 参加チーム数により、リーグ戦、トーナメントとする。
   （男女の参加チーム数により、試合期間を１日、または2日のどちらかとする）
   3チーム以内の場合はリーグ戦。
   4チーム以上の場合はトーナメントとする。
   (3) 試合時間
      1. ゲームは１０分のピリオドを4回行う。
      2. 第1ピリオドと第2ピリオドの間、第3ピリオドと第4ピリオドの間に、それぞれ2分のインターバル（休憩時間）をおく。
      3. ハーフタイムは１０分とする。
   (4) 延長戦は5分、決着が付かなかった場合は再延長戦（5分）。決定するまで繰り返す。ハーフタイムは2分とする。
   (5) ユニフォーム
      1. ００番から９９番までの番号がついているウエアを着用し、これらの番号外、または番号のないものの着用は、認めない。
      2. 濃淡の2種類以上を用意すること。

3. プログラムで先に記載されているチームが淡色、あとに記載されているチームが濃色のユニフォームを着用する。
4. 但し、両チームの話し合いで双方が了解した場合は、シャツの色の濃淡を交換することができる。

6. **使 用 球**

（公財）日本バスケットボール協会「バスケットボール競技規則」で指定されたボールを使用する。
（男子：7号、女子：6号）

7. **審判及びオフィシャル**

審判員とオフィシャルについて

⑴ 審判は、日本バスケットボール協会公認資格を持った審判員を採用する。
⑵ オフィシャルは、開催地のバスケットボール関係者に依頼する。
⑶ フラッグマン（笛が鳴ったことを旗を振って合図する担当）を1コートに2名、または4名配置する。
⑷ 手話通訳者を配置する。（1コート内 1 人）

8. **組み合わせ抽選**

⑴ 監督・主将会議において、抽選を行う。
⑵ 監督・主将会議において、監督・主将が共に欠席したチームは、原則的に出場を棄権したものとみなす。代理人が出席する場合は、事前に監督または主将が作成した委任状を提出しなければならない。

9. **表　彰**

⑴ 団体戦5チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち廻り）・ 賞状・メダルを 2 位、3 位チームは、賞状・メダルを授与する。
⑵ 団体戦4チーム以上出場した場合は、優勝チームに優勝カップ（持ち廻り） ・賞状・メダルを 2 位チームは、賞状・メダルを授与する。
⑶ 団体戦3チーム以下出場した場合は、優勝チームのみ優勝カップ（持ち廻り）・賞状・メダルを授与する。
⑷ 個人表彰は、最優秀選手賞、敢闘賞、得点王を男女各1名に授与する。

10. **その他**

⑴ 大会期間中に負傷、病気が生じても、主催者側では応急手当などの処置を行わない。各チームで対応できるようにしておくこと。
⑵ スポーツ傷害保険等は、各自において加入しておくこと。
⑶ プレー中に補聴器の使用は認めない。